

整理番号 2022P-135

補助事業名 2022年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業

補助事業者名 一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

①障害児者と家族、支援者のための機関誌の発行

国の施策や今後の方向性と、それに対する提言・ヒアリングを掲載することで国の施策に対する全国的な課題・問題点を理解し、各地域の活動内容や各種研修会等の実施報告等を通し、市区町村、都道府県ごとの情報を得て、居住する地域の施策と検証・共有して地域行政への提言活動に繋げる。また、生活に密着した様々な最新情報やイベントに携わることで、生活の質の向上と障害児者の自立心の向上、地域との交流を目的とする。

②障害児者と家族、支援者の地域交流と療育訓練事業

障害児者の成長過程に応じたりハビリ（訓練）を行うとともに、障害児者とその家族の負担軽減のため障害当事者に適した介護方法を習得し周知、普及すること。また医療関係者等より最新医療・療育を学び、日常生活について指導を受けることで、障害者の自立心を養成し、集団的行動で社会性を向上させ生活改善の一助とする。全国各地で実施し各地の地域事情を活かしつつ、正しい知識の普及、支援者育成並びに交流を深めることで信頼関係を築くことにより障害児者とその家族の孤立を防ぎ、地域生活を豊かにすることを目的とする。

③車いす等利用時のシーティングと支援機器等の活用についてのセミナー

生活に密着した支援機器等に対し、障害児者一人一人の特性、生活に沿ったものが如何に重要なのかを理解し、支援機器等の普及と活用に向けた取り組みに関する課題を明らかにする。幼児期から支援学校卒業後、成人期から高齢期までの生活態様と成長過程に沿って支援機器等の形状も変化していくため支援機器等の更新に際し、専門的な研修並びに、ワークショップで同様な課題に対して相互に意見交換を行い、専門職の意見から改善の必要ある内容は地域の関係機関に意見を繋げていく。そのことを地域活動の活発化機会とすることを目的とする。

(2) 実施内容

①障害児者と家族、支援者のための機関誌の発行

(<https://www.zenshiren.or.jp/publics/index/310/>)

機関誌「いずみ」2回発行

機関誌「いずみ」

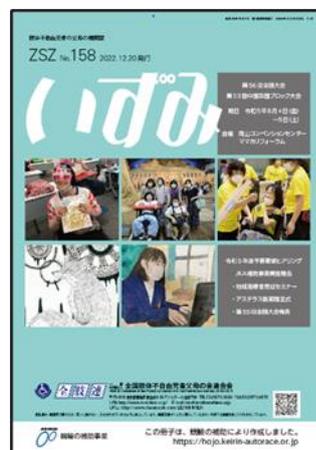
ア 157号 令和4年6月20日発行 A4版 32ページ 2000部

イ 158号 令和4年12月20日発行 A4版 24ページ 3000部

「いずみ」157号では、2021年度に実施した相談事業の報告と本会の令和3年度事業報告、令和4年度事業計画を掲載。158号では各ブロックを通じて全国より寄せられた「令和5年度予算要望」について厚生労働省・文部科学省各部署の担当者からの現状と今後の見込み等の説明、意見交換を行った後、予算要望項目と回答を掲載。また、JKA補助事業「令和4年度地域指導者育成セミナー報告 車いす等利用時のシーティングと支援機器等の活用について」を6ブロック参加者からそれぞれ寄せられた感想を掲載した。



いずみ 157



いずみ 156

②障害児者と家族、支援者の地域交流と療育訓練事業

(2カ所)

(<https://www.zenshiren.or.jp/publics/index/310/>)

ア 2022年11月26日（日帰り）広島県広島市心身障害者福祉センター 21名

昨年度に引き続き、講師を中心とした専門指導員によるインテーク（問診）とリハビリ訓練を実施。コロナ禍で身体を動かす機会や家族以外との係わりが減っていることに悩む保護者を中心に講師と専門指導員による訓練法の指導が行われた。また、訓練に加え会員同士の情報交換やレスパイトの場となった。

イ 2023年2月5日（日帰り）滋賀県野洲市さざなみホール 21名

当会副会長で小児科医でもある植松潤治氏による講演の後、神経学的音楽療法を行った。実際に会場で演奏される音楽に合わせて、専門家指導のもと楽しみながら身体を動かしました。



広島県



滋賀県

③車いす等利用時のシーティングと支援機器等の活用についてのセミナー (6か所)

(<https://www.zenshiren.or.jp/publics/index/310/>)

2022年度療育ハンドブックで取り上げたシーティングの筆者を講師に招き、講演と体験会を通して学びを深め、障害の状況に適応した正しい支援機器等の活用で健全な生活を送れるよう地元行政への要望活動に繋げていくことを目的に全国6箇所で実施。

- | | | | | |
|---|----------------|-----|-----|-------------------------|
| ア | 令和4年 7月 9日～10日 | 35名 | 北海道 | かでの2. 7 |
| イ | 令和4年 7月23日～24日 | 21名 | 岩手県 | いこいの村岩手 |
| ウ | 令和4年10月15日 | 44名 | 奈良県 | 奈良県文化会館 |
| エ | 令和4年10月22日～23日 | 31名 | 千葉県 | 蘇我コミュニティセンターハーモニープラザ 分館 |
| オ | 令和3年11月19日～20日 | 30名 | 福岡県 | 福岡市市民福祉プラザ |
| カ | 令和4年11月26日～27日 | 19名 | 愛知県 | ウインクあいち |



北海道



岩手県



奈良県



千葉県



福岡県



愛知県

2 予想される事業実施効果

①障害児者と家族、支援者のための機関誌の発行

令和3年より当会ホームページ上に会員ページを設け情報発信を行っているが、依然として紙媒体での情報提供ニーズが高い。これには高齢の会員が多いことが要因の一つと考える。比較的若い世代の会員は電子媒体からの情報収集に抵抗ないためホームページ・メール等電子媒体を用いた情報発信をメインに行っているが、電子機器の扱いが難しい高齢者会員へ情報格差を生じさせないために紙媒体での情報提供は現状必要である。

②障害児者と家族、支援者の地域交流と療育訓練事業

適切なりハビリ訓練を継続的に受けることは障害児者の身体機能の維持・促進に必要不可欠であり、家族以外の人たちと触れ合うことは社会性を育む。また、障害当事者を支える家族の心の健康、レスパイトにつながる。ここ数年の新型コロナウイルス感染症の影響で参加できず、これにより身体と心の健康に悪影響を与えてしまった障害当事者とその家族のためにも本事業の継続は必要であり、引き続き障害児者の身体と心の健康維持に努めます。

③車いす等利用時のシーティングと支援機器等の活用についてのセミナー

日々変化する障害児者の生活や自立を支える「生活支援機器」に実際に触れ、体験することで障害児者が必要としている道具が研究・開発され、それぞれの最新情報を理解し、全国何処でも障害児者一人一人の特性、生活に適した物を適宜支援されること。その他の地域支援事業はじめ医療・療育、住居等地域で安心して生活するために必要な施策に対し研修、体験事業を通して学びを深め、障害の状況に適応した正しい支援機器等の活用で生涯を通し健全な生活を送れるよう地元行政への要望活動に繋げていく。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

(<https://www.zenshiren.or.jp/publics/index/310/>)

①障害児者と家族、支援者のための機関誌の発行

ア 障害児者と家族、支援者のための機関誌の発行

機関誌 2,000部 × 1回 = 2,000部 (いずみ157号)
3,000部 × 1回 = 3,000部 (いずみ158号)

イ 車いす等利用時のシーティングと支援機器等の活用についてのセミナー

研修会報告書 500部 (令和4年度地域指導者育成セミナー研修会報告書)



4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会
(ゼンコクシタイフジユウジシャフボノカイレンゴウカイ)

住 所： 〒170-0013
東京都豊島区東池袋1-36-7 アルテール池袋709

代 表 者： 会長 清水 誠一 (シミズ セイイチ)

担 当 部 署： 事務局

担 当 者 名： 原田由美子 (ハラダ ユミコ)

電 話 番 号： 03-3971-3666

F A X： 03-3971-6079

E - m a i l： zenshiren@zenshiren.or.jp

U R L： <http://www.zenshiren.or.jp>